

第6回臨時会（8月11日）

■グレステンスキー講習会

7月18日、19日元オリンピック日本代表岩谷高峰氏が講師にグレステンスキー講習会が開催され、全道各地より27人の参加がありました。

残念ながら2日目は降雨により中央公民館での研修となりましたが、グレステンスキーの今後の活用とPRをお願いしたところであります。

■第59回社会を明るくする運動「ふれあい町民のつどい」

7月29日に中央公民館において「ふれあい町民のつどい」として開催いたしました。

このつどいには、90人余りの方が参加され、社会を明るくする運動の標語の表彰式及び、講演会が行われました。

また、美幌地区保護司会津別分区長 福井全雅様より更生保護施行60周年を記念し、社会を明るくする運動「標語掲示タワー」の寄贈を受け、中央公民館敷地内に設置しました。

■加工馬鈴しょ集出荷貯蔵施設新設工事

津別町農業協同組合が事業主体で実施しております加工馬鈴しょ集出荷貯蔵施設の新設工事につきまして、8月8日 起工式が執り行われまし

た。平成22年1月25日完成予定となっており、平成22年産から主にカルビー、クレードル向けとして利用が図られ、貯蔵期間が現状より4カ月程度延長され計画的長期安定出荷が可能となり、取扱数量の拡大と高品質出荷により生産者の農業所得向上につながるものと考えています。



■船橋市・南アルプス市との青少年交流事業

8月1日から5日までの日程で船橋市から50人、8月5日から7日までは南アルプス市から26人の交流団（児童生徒・指導者）が来町しました。両市交流団とも天候に恵まれ、ホームステイ、木工体験、ゴムボートによる川下り、農業体験等を通して両市と本町の児童生徒との交流の輪を広げるとともに様々な体験を

し、元気に帰郷されました。

■企業立地

8月4日関係者約40人が出席し、山梨県南アルプス市小林ニットウェア株式会社津別工場の操業セレモニーが行なわれました。

6年振りの操業再開であり、小林幸夫社長より「安心・安全にこだわった高品質なベビー服を、北の地津別より届けていきたい。」との思いが伝えられ、今後新生児用衣料を年間6万着生産し、12人が雇用されることとなります。

◎その他報告された事項

■寄附 ■第39回つべつ夏まつり ■ジュニアアトランポリン全国大会 ■小学生ソフトテニス大会 ■農作物の生育状況

第7回定例会（9月17日）

■津別町児童館の愛称決定

子どもたちから愛称を募集したところ61点の応募があり、その中から津別小学校4年生の藤岡篤也君から応募のありました「つべつん」に決定しました。

今後は、児童館の外壁にロゴマークと愛称を掲げ、より一層子どもたちに愛着が持たれる児童館運営を目指していきたいと考えています。



■森の健康館の運営

平成19年11月1日より指定管理者となった株式会社愛生の杜は、売上不振に陥り、本年2月には返済資金に不足が生じるようになったとして、3月16日、釧路地方裁判所北見支部に民事再生手続開始の申し立てを行いました。その後、裁判所に提出する再生計画を検討する株式会社愛生の杜再生債務者代理人弁護士より、9月7日付けの文書をもって、「津別町森の健康館及び山村体験宿泊施設の管理に關する基本協定書」に基づき、指定管理者としての指定取り消しの申し出がありました。

継続することは不能であり、10月末日までの運営としたい旨の申し出になっていきます。この申し出に対し、議会を始め関係者各位と協議しながら適切な対応を心がけ、当施設の運営につきまして慎重に取り進めるところです。

■津別町グリーン・ツーリズムの受入れ

本年はこれまでに2校の受入れを行いました。1校は、大阪市にあります大阪ペイ動物看護専門学校の女子生徒11人を8月23日から28日の6日間、酪農家8戸・畑作農家2戸で受入れを行い、搾乳や草取り、乗馬などを体験したところとす。本年は農家民泊を初めて取り入れ、二泊を農家民泊で取り組んだところとあります。また、昨年も受入れを行いました。また、昨年も受入れを行いました。また、昨年も受入れを行いました。また、昨年も受入れを行いました。

◎その他報告された事項

■第14回つべつ日本ファイルセミナー ■つべつふるさとまつり ■津別町地球温暖化対策実行計画の実施結果（平成20年度における温室効果ガスの排出） ■農作物の生育状況 ■建設工事等の発注状況

委員会活動

常任委員会 特別委員会

各常任委員会・特別委員会は議会の閉会中も委員会を開催し、所管事務について協議しています。

総務文教常任委員会

第6回（7月31日）

- ・地域活性化・経済危機対策臨時交付金及び地域公共投資臨時交付金について

第7回（9月3日）

- ・網走支庁管内町村公平委員会組合規約の変更について
- ・北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について
- ・北海道市町村総合事務組合規約の変更について

- ・北海道市町村協議会議員公務災害補償等組合規約の変更について

- ・網走支庁管内町村交通災害共済組合規約の変更について
- ・生活安全条例の一部改正について

- ・地域活性化・経済危機対策臨時交付金について

産業福祉常任委員会

第6回（7月31日）

- ・地域活性化・経済危機対策臨時交

- 付金及び地域公共投資臨時交付金について

- ・木質ペレット製造施設条例の制定について
- ・ペレット協同組合に対する支援について

- ・基幹作業道恩根2号線の整備計画について

- ・林産工業振興基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部改正について

- ・民有林の購入計画について

第7回（9月2日）

- ・公の施設に係る指定管理者の指定について

- ・林産工業振興基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部改正について

- ・町営住宅の設置及び管理に関する条例及び特定公共賃貸住宅管理条例の一部改正について

- ・水道事業特別会計条例の一部改正について

- ・町道の整備計画について

- ・子育て支援特別手当（平成21年度

- 版）支給事業の実施について
- ・女性特有のがん検診推進事業の実施について

- ・地域活性化・経済危機対策臨時交付金について

議会運営委員会

第7回（8月7日）

- ・第6回津別町議会臨時会の運営について

第8回（9月14日）

- ・第7回津別町議会定例会の運営について

- ・意見書の取り扱いについて
- ・各種委員の推薦について

議会広報特別委員会

第4回（10月14日）

- ・議会報130号の編集について

議会日誌

7月

- 29～30日 管内総合開発期成会夏季要望(東京)
31日 総務文教常任委員会
31日 産業福祉常任委員会

8月

- 4日 網走地方森林・林業・林産業活性化促進議員連盟連絡会総会(北見市)
7日 議会運営委員会
11日 第6回津別町議会臨時会
17～18日 議会広報研修会(札幌市)

9月

- 1日 網走郡下正副議長会議(大空町)
2日 産業福祉常任委員会
3日 総務文教常任委員会
14日 議会運営委員会
17～18日 第7回津別町議会定例会

10月

- 7～9日 総務文教常任委員会道内視察
(美瑛町閉校校舎の利活用、南幌町指定管理者制度、栗山町議会基本条例)
14日 議会広報委員会

道路の整備に関する意見書

- ◆提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、
総務大臣、財務大臣、国土交通大臣

また、議員個々の自覚が旺盛で、町民代表の立場を毅然として実践し、議会と町政の動きをつぶさに町民に知らせ、情報公開を積極的に行い、町民参加を図っていました。当町議会でも今後は視察はやすし、実行は難しでなく、全議員の賛同を得ながら津別に合った「議会基本条例」の制定を意図し、町民の負託にこたえるよう、より良い議会づくりを進めて行くことも重要であると考えています。

(谷川)

意見書

関係行政庁へ
提出しました

所得税法第56条の廃止を求める意見書

中小業者は、地域経済の担い手として、日本経済の発展に貢献してきました。その中小零細業者を支えている家族従業者の「働き分」(自家労賃)は、税法上、所得税法第56条「配偶者とその親族が事業に従事した時、対価の支払いは必要経費に算入しない」(条文要旨)により、必要経費に認められていません。

事業主の所得から控除される金額は、配偶者の場合は86万円、家族の場合は50万円で、家族従業者はこのわずかな控除しかなく、社会的にも経済的にも全く自立できないことから、他の職業を求め、後継者不足に拍車をかけています。税法上では、青色申告にすれば、賃金を経費にすることができそうですが、同じ労働に対して、青色や白色など申告の仕方でも働き分を認めたり、認めなかったりする制度自体が矛盾しています。ドイツ、フランス、アメリカなど、世界の主要国では「自家労賃を必要経費」として認めています。

この問題は、ひとりの働く人間として、その労働を税制上認めるのかどうかという人権問題です。税法上も、民法、労働法や社会保障上でも、家族従業者の人権保障の基礎をつくるためにも、所得税法第56条を廃止することを求めるものです。

- ◆提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、
財務大臣、法務大臣

はぐるま

—歯車—

先般、総務文教常任委員会での道内先進地の視察研修に行ってきました。栗山町では、津別町にはない議会基本条例を全国に先駆けて制定し、町民を常に主役とした理念を持ち、ち町民のための